

ちば畜産レディースネットワーク設立趣意書

首都圏に位置する千葉県は、戦後の高度経済成長期には都市近郊畜産の有利性を生かし、牛・豚・鶏各畜種とも飛躍的な発展をとげ全国有数の大生産地として、良質な畜産物の供給を通じて、県民はもとより国民の食生活向上に大きく貢献しています。

これからの畜産経営の維持発展のためには、環境に配慮しながら、県民のみなさんに安全で安心な畜産物を供給することはもちろん、畜産物を供給する立場として、子供たちへの食育などをも担っていく大きな責務があると考えます。

生命を守り育ててきた私たち女性が互いに尊重し協力し合い、夢と希望にあふれ、魅力ある畜産業にしていく必要があるのではないのでしょうか。

私たち畜産に携わる女性たちは、家庭との両立を果たしながら畜産経営を支えています。さらに最近は、女性の持つ感性を生かしながら、自ら生産した農畜産物の加工・直売への取り組みや、千葉県という都市部に近い立地条件を生かした消費者との交流等を実践し、畜産の大切さを伝えようと活動をされている方も数多くいらっしゃいます。

全国的に見れば、平成17年8月29日に「全国畜産縦断いきいきネットワーク」が発足し、その他各県でも畜産に携わる女性たちの組織が設立され、活動が活発化しています。

しかし、県内では畜産に携わる女性たちの声を発信する機会や畜種を越えた情報交換の場や研鑽の場が整っているとはいえません。

そこで、畜産経営をより魅力あるものにするために、私たち千葉県の畜産に携わる多くの女性たちが、飼養畜種を越えて集まり、互いに交流を深め、研鑽する場として、また、消費者との交流や子供たちへの「食育」とおして畜産をもっと知ってもらうための活動の場として、「ちば畜産レディースネットワーク」を設立することを提案いたします。

平成19年3月吉日

ちば畜産レディースネットワーク発起人

青柳まゆみ、池田とも子、池田 玲子、伊藤 和子、宇野 栄子、
奥野 栄子、久古 美枝、作田 恵美、佐々木佳代、柴 しづい、
須藤 陽子、関口 洋子、高橋奈緒美、林 藤江、長谷川攝子、
程田 節子、堀江 昌代、牧野比呂美、増戸ケイ子、三橋ユリ子
(五十音順)

